



階段ユニット らくプレカット 直線側板・廻り幅木納まり 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

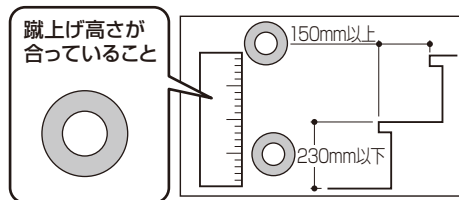
■守っていただきたいこと

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

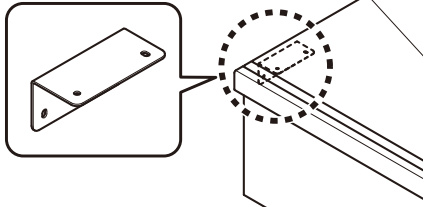
▲注意



- 必ず室内に取付けてください。水に濡れると製品強度が落ち、破損してケガをするおそれがあります。
- 下記施工条件を守ってください。階段を踏み外しケガをするおそれがあります。
 - ・建築基準法を遵守してください。
(踏面：150mm以上、蹴上げ：230mm以下、有効開口幅：750mm以上)
 - ・蹴上げ高さを一定にしてください。



※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	建築基準法は守られていますか。	<input type="checkbox"/>
2	L型金具は正しく取付けできていますか。 	<input type="checkbox"/>
3	階段全体のガタツキや踏鳴り(踏板のキシミ音)はありませんか。	<input type="checkbox"/>

保管・取付け前のお願い

1 検品について

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。

2 取扱いについて

- キズがつくので運搬・加工時は丁寧にお取扱いください。
- ソリ、ねじれの原因になるので以下の行為や場所に置くことは避けてください。(開梱状態で水がかかる、直射日光の当る、湿気が多い)
- 外観不良の原因になるので、濡れた場合は、すぐにふき取り、乾燥させてください。

3 色柄について

- 色の調和をとるために、色柄の仮合わせをしてから取付けしてください。

4 躯体について

- ガタツキや異音の原因になるので、階段の荷重に耐えられる躯体構造にしてください。
- 取付けできなくなるので、躯体の垂直、階高・開口寸法を確認してください。

■別途手配必要物

- ・ねじ
(本文記載を参照※L型金具以外のねじは全て現場手配)
- ・けこみ板補強材(12mm厚以上)
- ・接着剤「コニシネダボンド アプリパック」



このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

■完成イメージ図

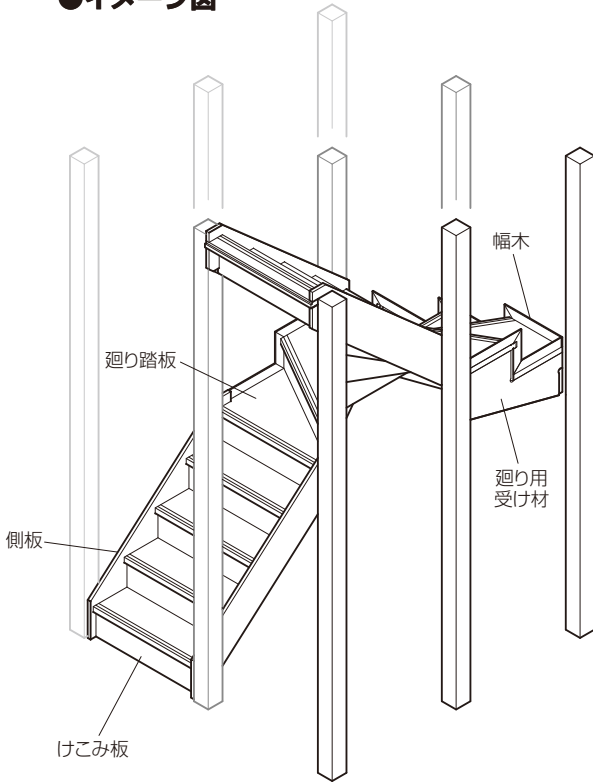
(折り返し階段6段廻り 直線側板・廻り幅木仕様 上がり切り15段ボード12.5mm先貼り けこみ芯納まりの場合)

※本文中の各手順も上記仕様で説明しています。

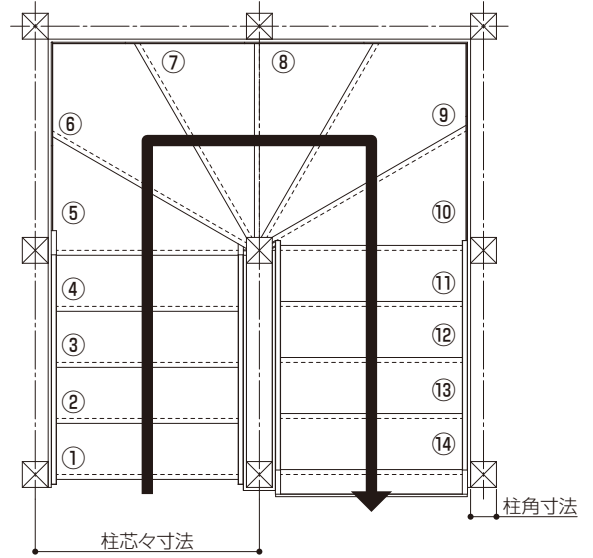
※次頁以降に記載の順番にて、加工・取付けを行ってください。

(廻り踏板の取付けの前に側板を取付けると、廻り踏板が納まりません)

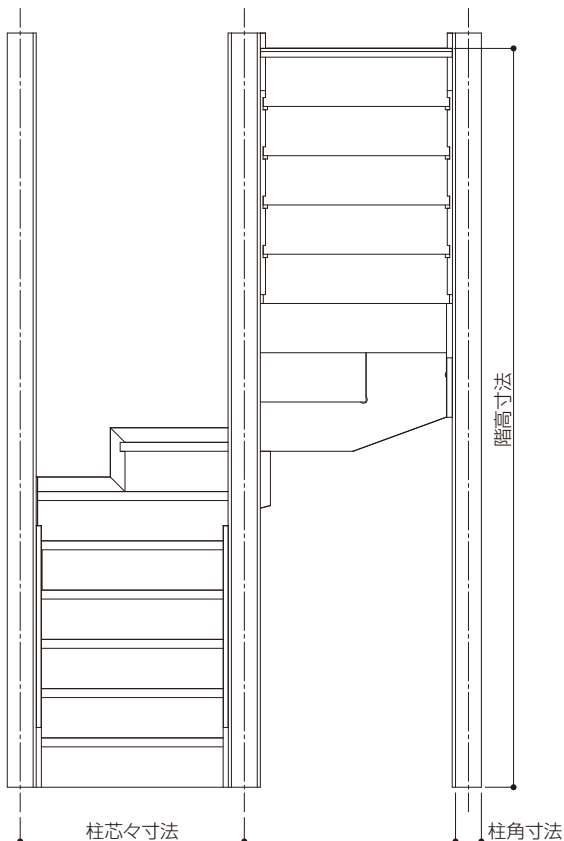
●イメージ図



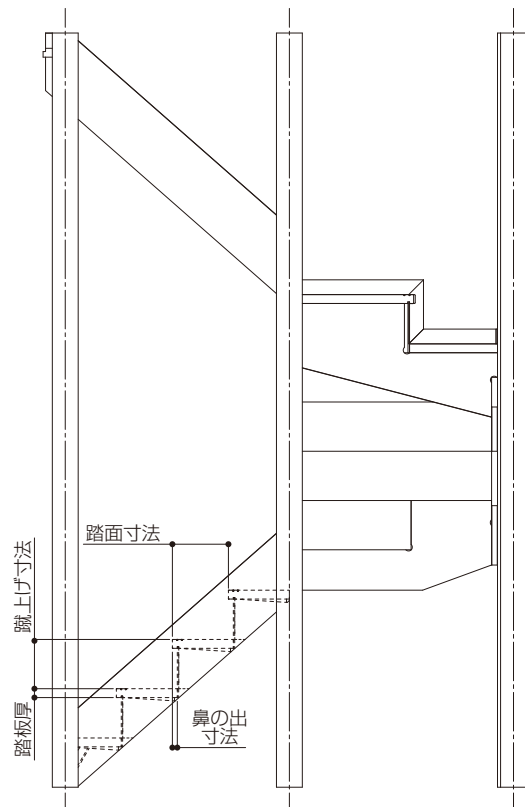
●平面図



●正面図



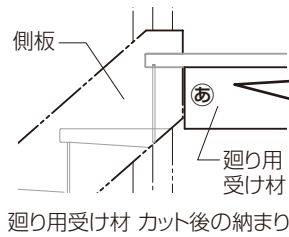
●側面図



1 廻り用受け材の加工

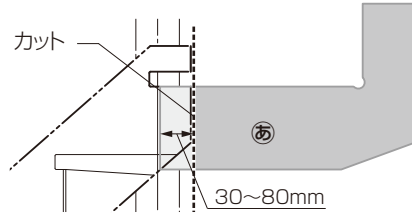
- ① 躯体のボード壁または柱に蹴上げ高さの墨出し線を引いてください。
- ② 廻り用受け材の各部位を加工してください。
(必要により、廻り用受け材と側板を仮固定して、納まりを確認してください。)

⑦ 直線側板-廻り幅木接合部

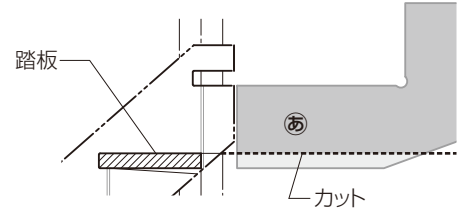


廻り用受け材 カット後の納まり

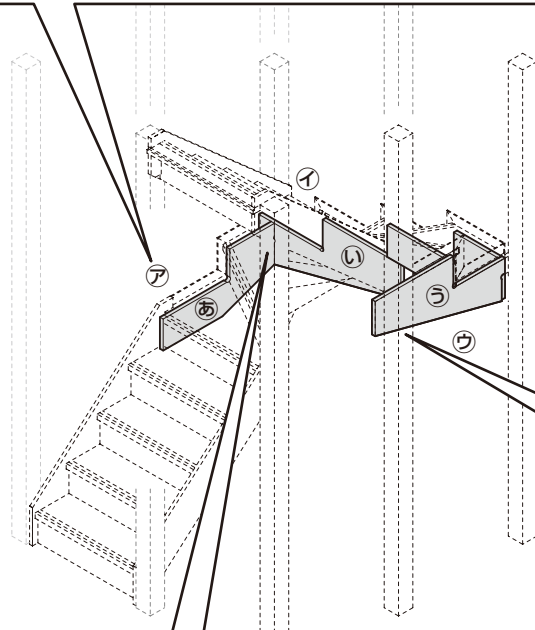
● 廻り用受け材⑥のカット



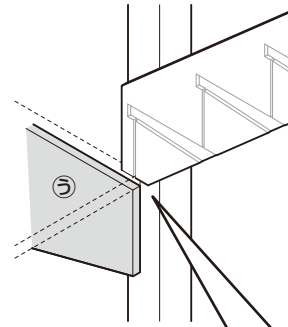
廻り用受け材が側板と干渉する箇所を30~80mm(*)カットします。
*カット寸法は側板の条件、柱芯納まりにより変わります。



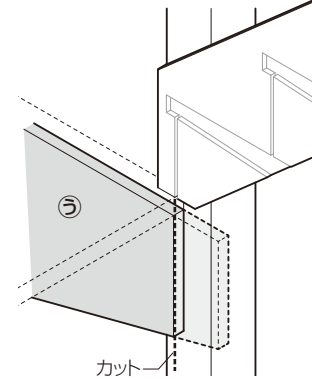
踏板を挿入するラインと干渉する箇所を
踏板厚分カットします



⑧ 廻り幅木-直線側板 接合部



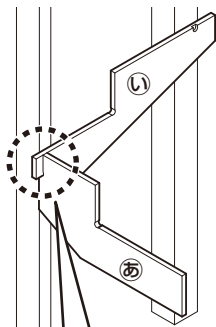
● 廻り用受け材⑧のカット



直線側板部のけこみ板が挿入できるようにカットします。

① コーナー部

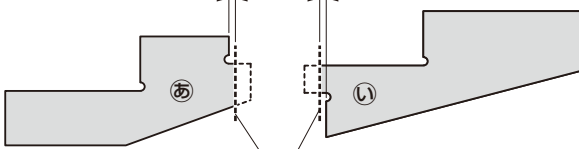
壁面に合わせてカット



● ボード先張りの場合

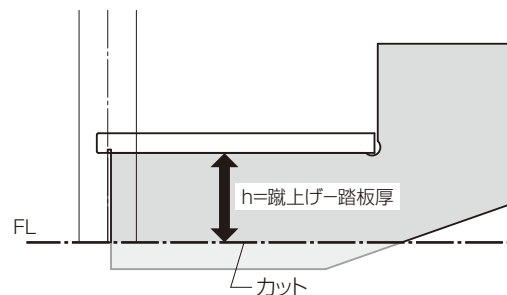
24mm(受け材厚)

24mm(受け材厚)



カットライン

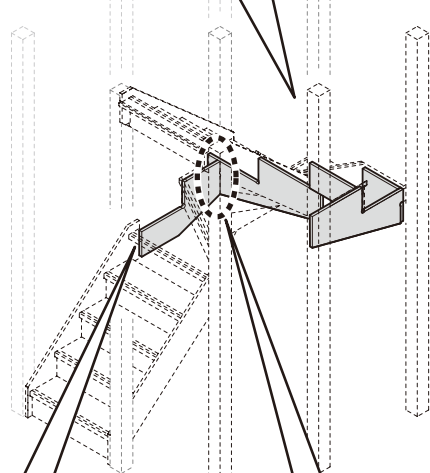
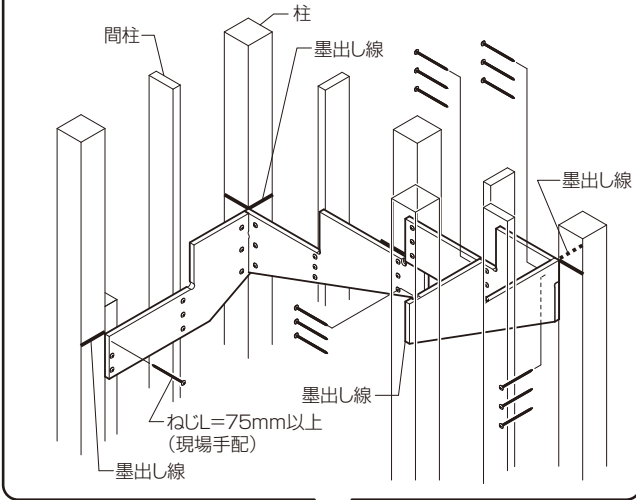
廻り部が1段目の場合、受け材の下端部のカットが必要です。



2 廻り用受け材の取付け

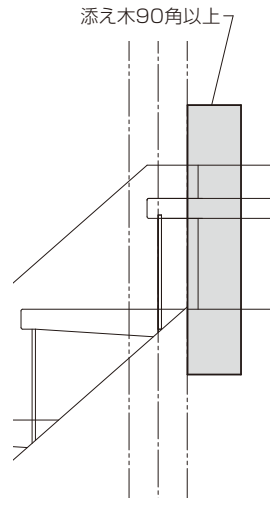
- ①墨出し線に合わせて、柱と間柱に受け材を固定します。
固定：L=75mm以上のねじ(現場手配)で各柱・間柱に3カ所以上

●廻り用受け材の固定箇所



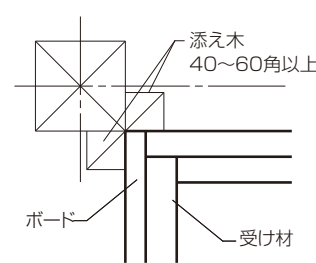
●直線側板- 廻り幅木接合部

受け材固定用に添え木(90角以上)を入れてください。

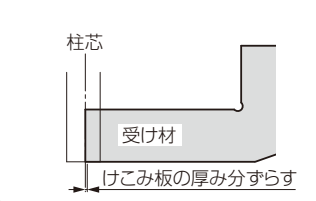


●コーナー部の固定

ボード先張りの場合、コーナー部に添え木(40~60角以上)を入れてください。



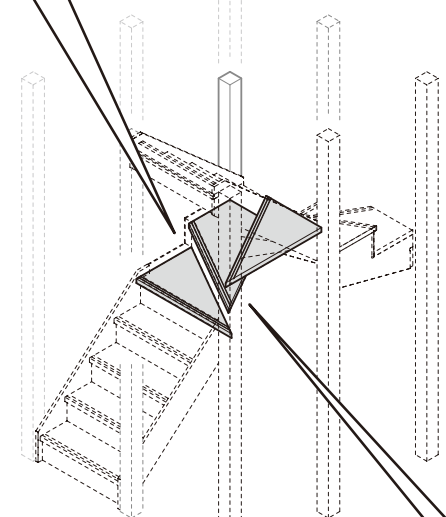
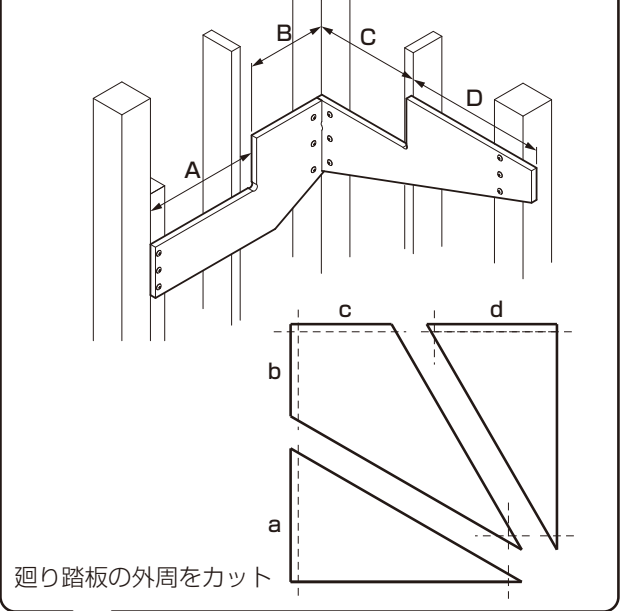
<ポイント>
1段目が廻り部(受け材)の場合



3 廻り踏板の加工

- ①下図の廻り用受け材A~Dの納まりを考慮して、廻り踏板の外周a~dを切断します。
- ②廻り踏板の中心になる柱を柱芯納まりに合わせて加工します。
- ③踏板の鋭角部は、柱の欠き込み寸法に合わせて切断します。

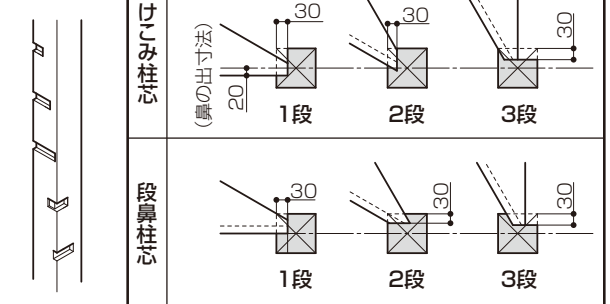
●廻り用踏板のカット



●踏板の鋭角部切り欠き

■折り返し6段鼻の出寸法30mm、内柱105角の場合

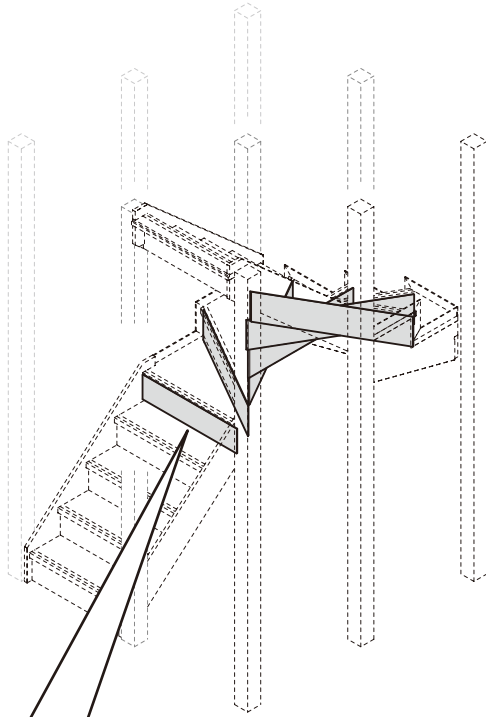
●イメージ



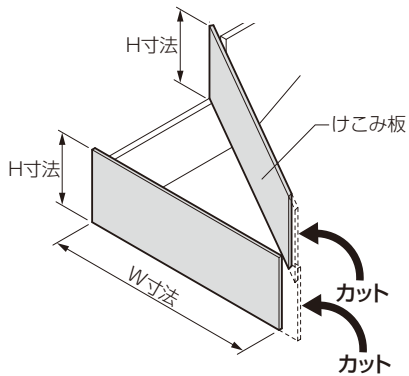
4 廻り用けこみ板の加工

①廻り用のけこみ板は、階段の寸法に合わせて幅をカットしてください。

※直線用のけこみ板は指定寸法でカットされています。
現場状況にあわせてカットしてください。



●廻り用けこみ板のカット



けこみ板		H寸法	W寸法
1 段目・ 1 段目以外 共通	廻り部	指定寸法でカット済 (※ 1)	現場に合わせて 廻り中心部をカット
	直線部		指定寸法でカット済 (※ 1)

(※ 1) 現場状況に合わせてカットしてください。

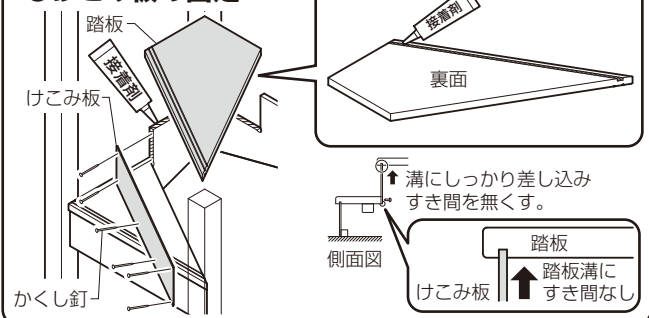
5 廻り踏板と廻り用けこみ板の取付け

廻り踏板の取付け上のお願ひ

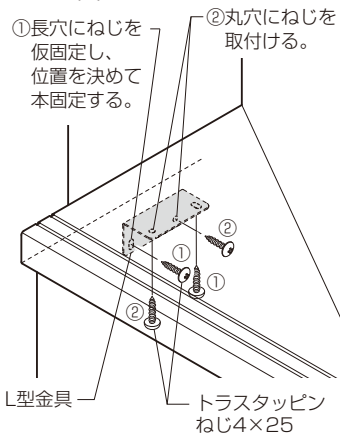
- ガタツキや異音の原因になるので下記事項をお守りください。
 - ・踏板は水平に取付けてください。
 - ・指定箇所を指定の接着剤で接着してください。
指定接着剤：コニシ ネダボンド アプリバック(現場手配)
 - ・接着剤硬化までは力をかけないでください。
- 突き出たり、短いと固定できないので指定のねじを使用してください。
- ねじ折れや部材の割れを防止するため、下穴をあけてねじ固定してください。
- 外観不良になるので表面に接着剤が付着したら、すぐにふき取ってください。

- ①受け材の木口面に接着剤を塗布します。
廻り部の2段目のけこみ板を置いたあと、1段目の廻り踏板のけこみ溝の位置を合わせて置いてください。
- ②下穴(目安Φ3.2)をあけ、L型金具を固定します。

●けこみ板の固定



L型金具



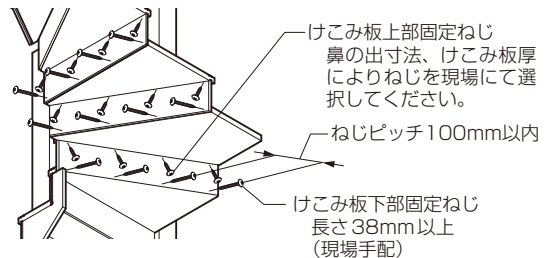
●L型金具の固定位置 下図を参照してください。

階段形状		取付け参考図	
90° 廻り	2段廻り		
	3段廻り		
	BF2段廻り		

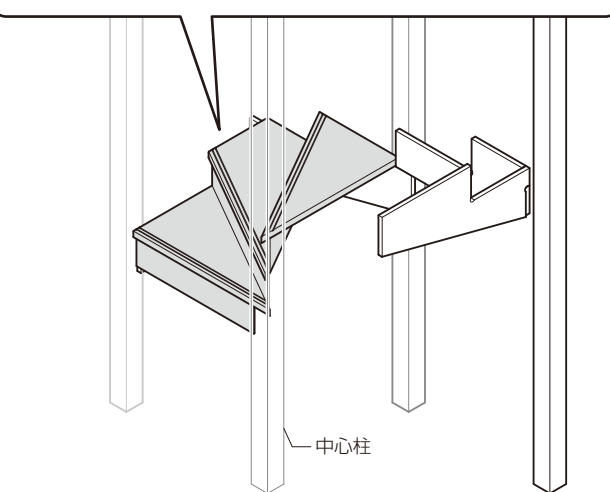
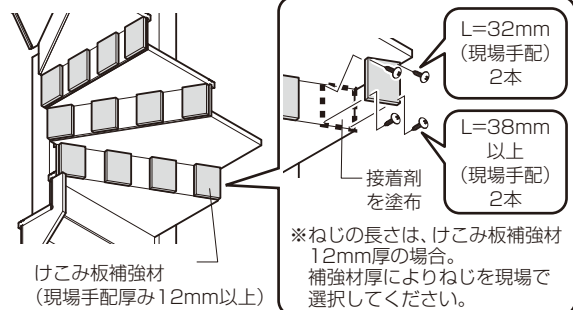
- ③裏からけこみ板と踏板をねじで固定します。
- ④けこみ板裏面に補強材を固定してください。
補強材には接着剤を塗布してください。
- ⑤次の段以降は、①～④を繰り返してください。

●けこみ板の固定

裏からけこみ板と踏板をねじで固定します。

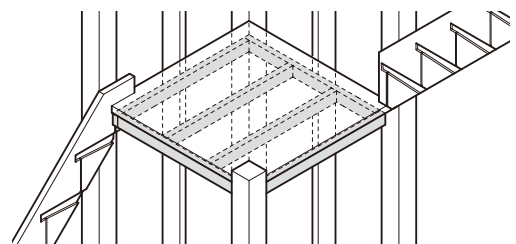


●けこみ板補強材の固定



<ポイント>

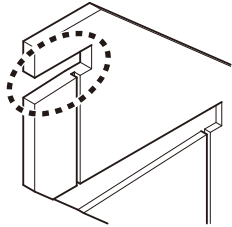
踊り場の場合、受け材での納まりではありません。
踊り場の下に補強材を取付けてください。
補強材は105mm×45mm以上の材料(現場手配)を使用してください。
補強材と踊り場は、接着剤とねじで固定してください。



6 側板の加工

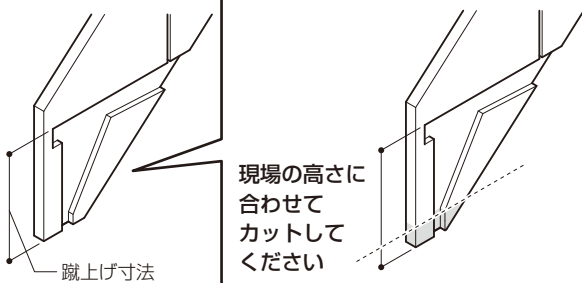
●選択した仕様により、追加加工の必要があります。

●最上段部、側板-廻り用受け材 接合部



●最下段部、中間部下端

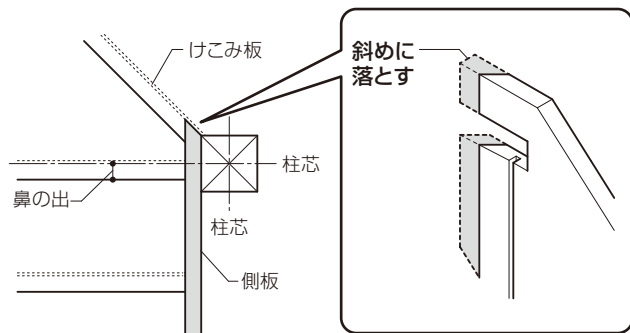
【下端12mm伸ばし選択の場合】



●中間部 上端

【けこみ板にあてて納める場合】

けこみ板にあたる角度で斜めにカットしてください。



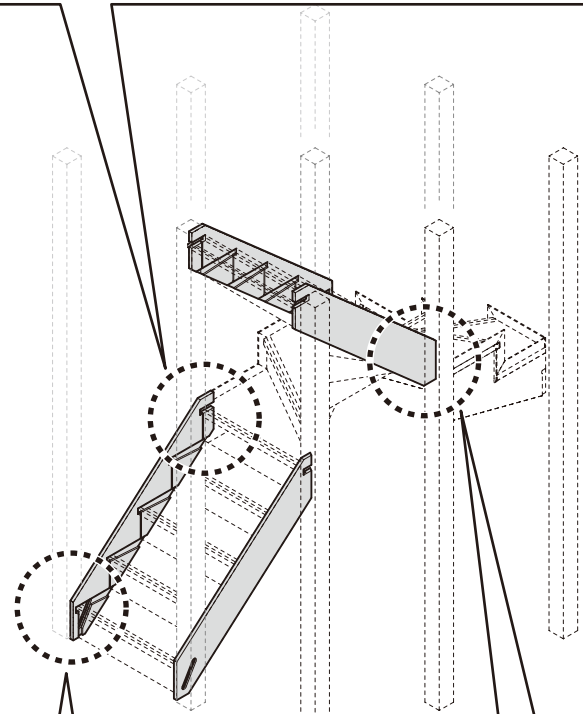
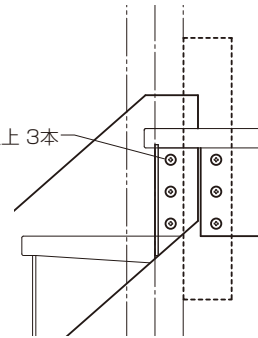
7 側板の取付け

●側板を各柱・間柱に固定します。

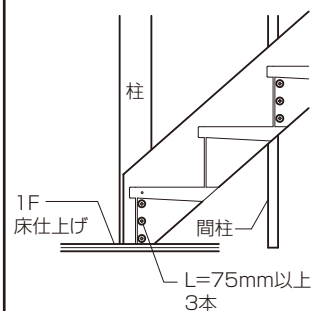
固定：L=75mm以上のねじ(現場手配)で各柱・間柱に3カ所以上

●側板-廻り用受け材 接合部

L=75mm以上 3本

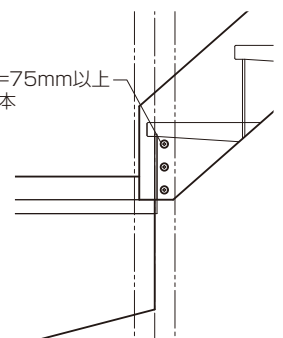


●側板の固定



●廻り用受け材-側板 接合部

L=75mm以上 3本

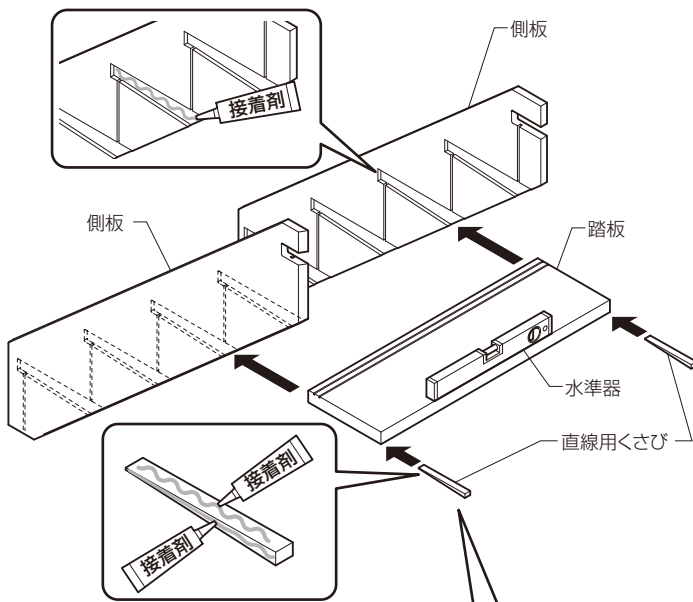


8 踏板の取付け

踏板の取付け上のお願い

- ガタツキや異音の原因になるので下記事項をお守りください。
 - ・踏板は水平に取り付けてください。
 - ・指定個所を指定の接着剤で接着してください。
指定接着剤：コニシ ネダボンド アプリパック(現場手配)
 - ・接着剤硬化までは力をかけないでください。
- 突き出たり、短いと固定できないので指定のねじを使用してください。
- ねじ折れや部材の割れを防止するため、下穴をあけてねじ固定してください。
- 外観不良になるので表面に接着剤が付着したら、すぐにふき取ってください。

- ①指定寸法で納品されています。
現場の状況にあわせてカットしてください。
- ②仮付けして、踏板の水平を確認します。
- ③側板の大入れ加工部に接着剤を塗布します。
- ④踏板のR加工手前まで入れます。
- ⑤くさびに接着剤(現場手配)を塗布して入れます。
- ⑥踏板を打ち込んでください。
側板加工とのすき間がないことを確認します。
- ⑦くさびを打ち込みます。
くさび後部が踏板から飛び出す場合は、カットします。
- ⑧L=60mm以上のねじ(現場手配)で3カ所固定します。

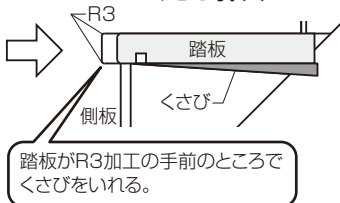


●踏板の固定

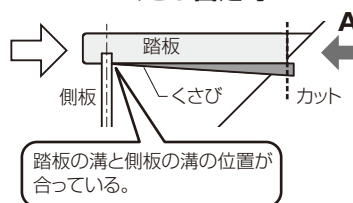
踏板のはめ込み



くさび挿入

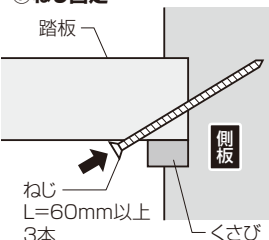


くさび固定時



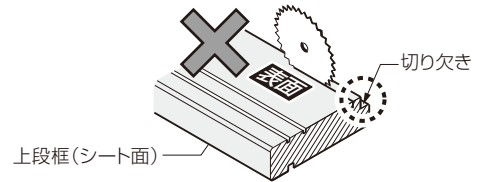
矢視 A

①ねじ固定



踏板をカットする場合のお願い

- シートがはがれるので、上段框の表面はカットしないでください。

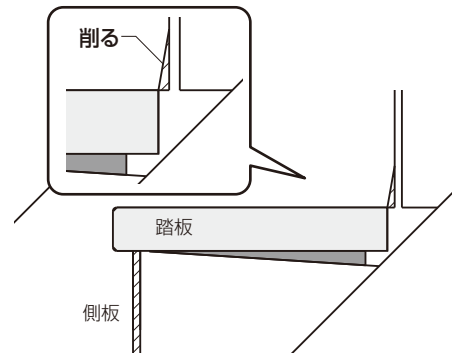


●踏板取付け時のポイント

取付けをしやすくするために、下記条件ごとの対応をおすすめします。

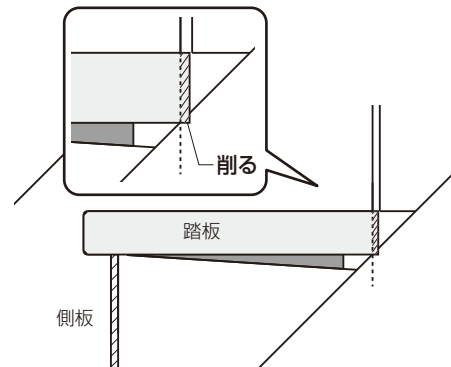
1) 踏板奥行き < 側板大入れの場合

側板のけこみ溝をノミで削って調整してください。



2) 踏板奥行き > 側板大入れの場合

踏板裏側木口を薄く削ってください。



9 直線用けこみ板の取付け

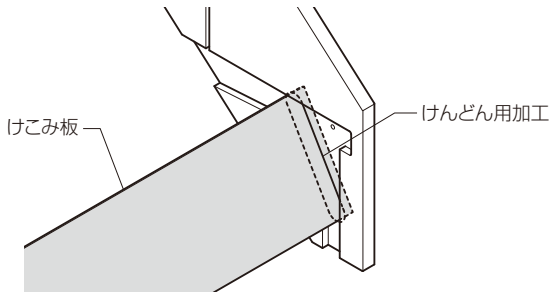
●取付け前の準備

①指定寸法でカットされています。現場の状況にあわせてカットしてください。

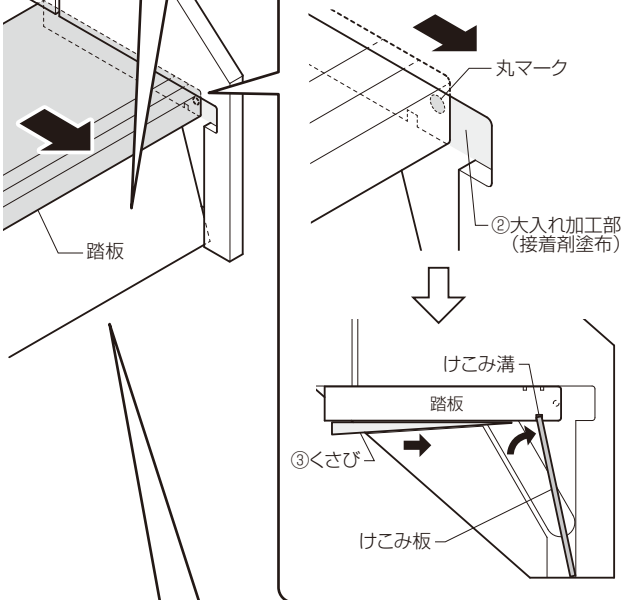
●1段目

- ①けんどん用の加工にけこみ板を入れます。
- ②側板の大入れ加工部に指定の接着剤を塗布します。
1段目の踏板を丸いマークのところまで差し込みます。
- ③けこみ板を踏板のけこみ溝に入れ、くさびを取付けます。
くさびを叩き込んで固定します。
※**8**踏板的取付けを参照
- ④1段目のけこみ板裏面下部の栈木(現場手配)を固定します。
栈木は40×30mm(現場手配)を使用します。
栈木取付け後、補強材を取付けます。
※補強材は、1段目以外④参照

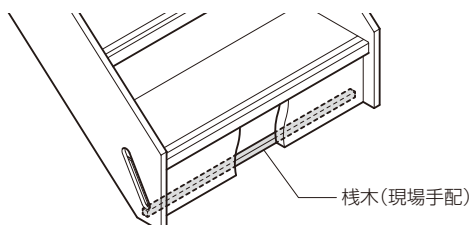
①けこみ板の差し込み



●1段目の踏板の入れ方



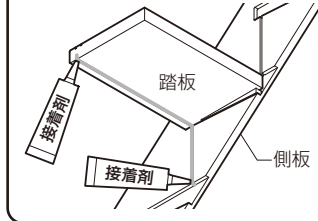
④栈木の固定



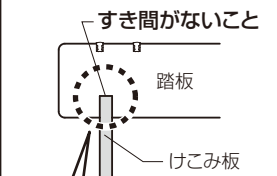
●1段目以外

- ①けこみ板を差し込む溝に接着剤を塗布します。
- ②けこみ板を側板、踏板の順に溝に入れてすき間がないことを確認します。
- ③裏からけこみ板と踏板をねじで固定します。
- ④けこみ板裏面には補強材を固定してください。
補強材には接着剤を塗布してください。
- ⑤次の段以降は、①～④を繰り返してください。

●接着剤塗布箇所

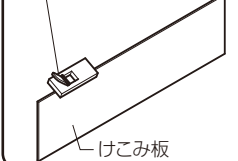


●けこみ溝のすき間について

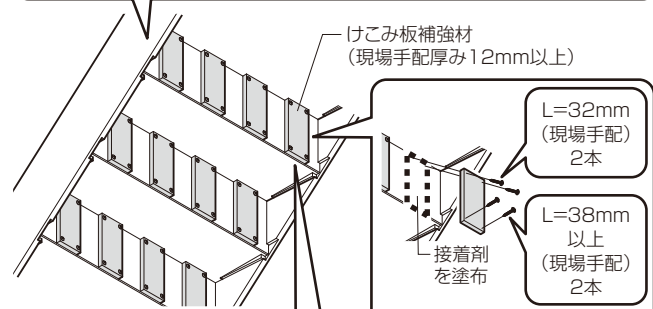
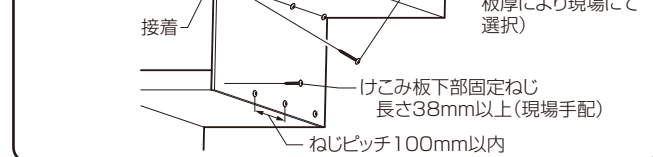


●けこみ板の端部について

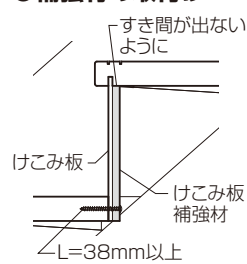
入りにくいときは、端部を面取りしてください。



●けこみ板の固定



●補強材の取付け



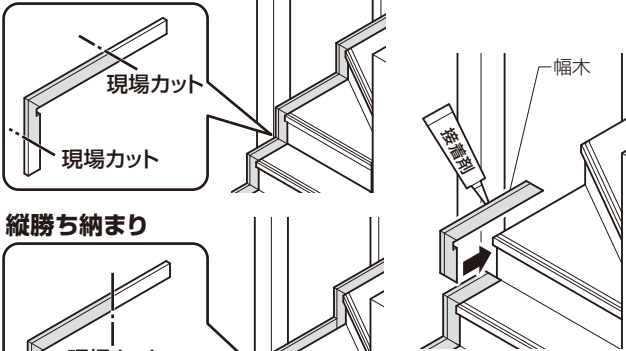
※ねじの長さは、けこみ板補強材12mm厚の場合。補強材厚によりねじを現場で選択してください。

10 幅木の加工・取付け

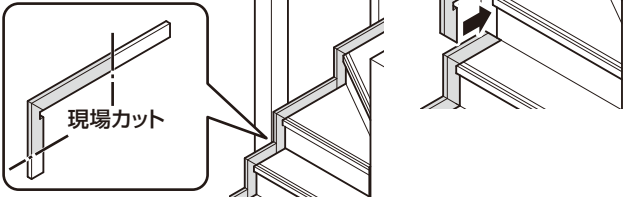
- ①現場の階段に合わせて高さ方向のカットをします。
端部は留め納まりまたは縦勝ち納まりのどちらかでカットします。
- ②階段とのすき間ができないように、踏板形状に合わせて加工します。
- ③奥行方向のカットをします。
- ④幅木裏面に接着剤(現場手配)をまんべんなく塗布し、フィニッシュネイル(現場手配)等で固定してください。

①廻り部の幅木カット

留め納まり

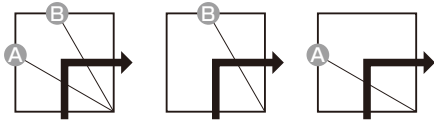


縦勝ち納まり



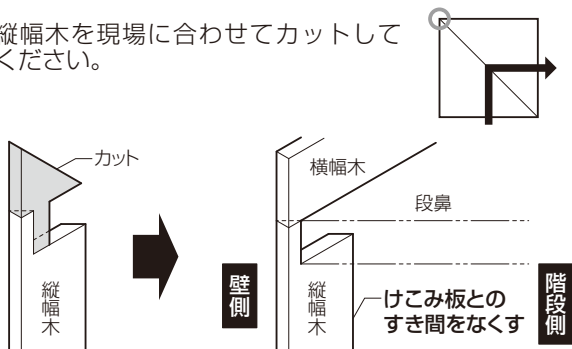
②廻り用幅木の加工

- ・A、B部の廻り踏板と干渉する箇所は幅木を切り欠く

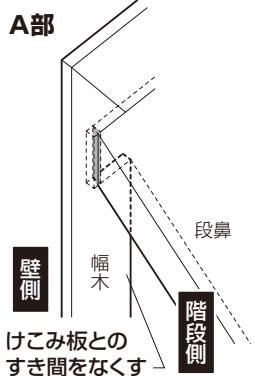
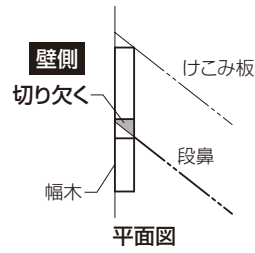


- ・段鼻が入隅にくる場合は、下記の加工を行ってください

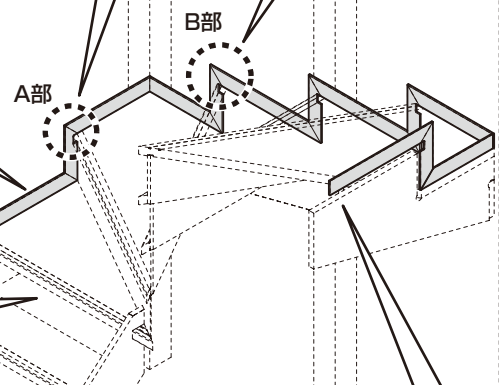
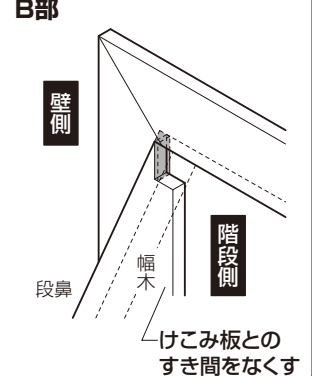
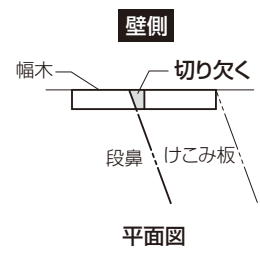
縦幅木を現場に合わせてカットしてください。



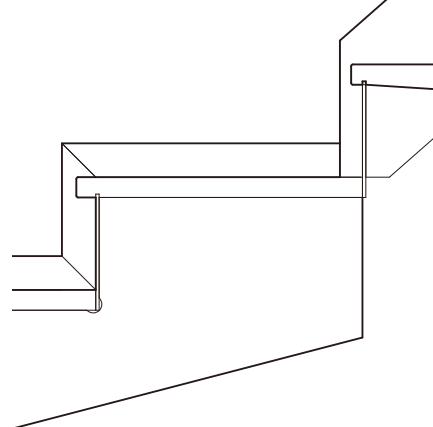
●A部の納め方



●B部の納め方



●廻り幅木-直線部の納まり



Ⅲ 取付け後の確認

取付け後のお願い

製品にキズがついたり外観不良の原因になるので下記事項をお守りください。

●養生について

- ・取付け後は、木くずや砂・ゴミをきれいに取り除いてください。
- ・清掃後、養生シート、ベニヤ、養生カバーなどですき間なく養生してください。
- ・養生の固定に市販のガムテープ等を利用すると表面材剥がれの原因になります。
- ・必ず当社指定(別売品)の養生テープをご使用ください。
- ・養生テープを剥がすときはゆっくりはがしてください。

●引き渡し前のクリーニングについて

- ・ゴミやホコリを取り除き、乾いた柔らかい布やモップで拭いてください。
- ・付着した汚れは薄めた中性洗剤を布につけて拭き、洗剤はきれいに拭き取ってください。
- ・変色・変質するので溶剤(ベンジン・アルコール等)を使用しないでください。
- ・すべりやすくなるので、階段にはワックスを使用しないでください。

●補修について

下記補修材をご用意しています。

◎リビング建材補修キット ◎補修液

◎補修用ウッドパテ

詳細はカタログでご確認ください。

MEMO
